

整理番号	28-12	事務事業名	地域土木振興補助事業	作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	高橋孝一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和37年	根拠法令等	北広島市土木工事補助条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	地域住民の生活環境の向上を図るため事業を開始した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	町内会等、住民生活の向上に寄与する目的で共同で土木工事を施行する団体。	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市が管理する以外の公共性を有する道路若しくは橋梁等を整備することにより、周辺住民の生活環境の改善を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	市が管理する以外の道路等で、土木工事を施行する団体が、工事費用の2/3以内の額の補助を受け事業を実施。 H13:大曲すずらん町内会外5団体 H14:大曲すずらん団地町内会外3団体 H15:輪厚中央町内会外3団体 H16:輪厚中央町内会外3団体
		17年度	大曲1号線道路組合外3団体

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	1,994	2,000	1,500	1,500
	合計	1,994	2,000	1,500	1,500
人件費(概算)	人数(年間)	0.12	0.12	0.12	0.12
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,080	1,080	1,080	1,080
総事業費 +		3,074	3,080	2,580	2,580

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標(事務事業の活動量や実績)	道路等の整備延長	369m	230m	230m	230m
	関係世帯数	209世帯	220世帯	220世帯	220世帯
成果指標(目的の達成度を測るものさし)	対象となる私道の総整備料量の把握が困難であるため、整備率の成果指標が算出できない。				
効率指標(主要活動単位当たりコスト)	関係一世帯当りのコスト	14.7千円/世帯	14.0千円/世帯	11.7千円/世帯	11.7千円/世帯
	(総事業費÷世帯数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	比較的公共性が高く周辺住民の生活基盤となっている土木施設が多くあることから、今後も継続するものと予想される。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	比較的公共性が高い私道等の整備に対する行政関与は、妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	比較的公共性が高い私道等の整備は、周辺住民の生活基盤の改善が目的であり、妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	補助金による現行制度は、適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	私道等の整備であることから、受益者負担は妥当である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	整備の内容は、周辺住民の要望内容であることから、その成果は上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	補助申請段階で、その整備内容及びコストを審査しているため、効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	整備要望が今後も予想されることから、現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市が管理する以外の公共性を有する道路整備に対する補助であるが、地域住民の生活環境の向上を図るため現状のまま継続する。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	28 - 12
------	---------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域土木振興補助金		
交付先の名称及び代表者名	大曲1号線組合 代表 祝田 俊	設立年	
構成員(団体)数	13世帯 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	大曲772番地内に存する私道の整備を行うことにより、私道沿線に居住する住民の生活環境の改善を図る。		
交付先団体等の活動内容	平成15年度 道路補修 W = 5.0 m L = 9.2 m 平成16年度 道路補修 W = 5.0 m L = 15.0 m 平成17年度 道路補修 W = 5.0 m L = 10.0 m		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	343.00	359.10	238.00	
	団体負担金	171.50	179.55	119.00	
	繰越金				
	収 入 合 計(B)	514.50	538.65	357.00	
支 出	工事費	514.50	538.65	357.00	
	支 出 合 計(C)	514.50	538.65	357.00	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		66.6 %	66.6 %	66.6 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		工事費	工事費	工事費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		514.50	538.65	357.00	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		66.6 %	66.6 %	66.6 %	
補助・交付金の算出根拠	工事費用の2 / 3以内の額				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	28 - 12
------	---------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域土木振興補助金		
交付先の名称及び代表者名	四里塚振興町内会 会長 高 畠 久 俊	設立年	
構成員(団体)数	179世帯 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	大曲5番地内に存する私道の整備を行うことにより、私道沿線に居住する住民の生活環境の改善を図る。		
交付先団体等の活動内容	平成15年度 道路補修 W = 4.0 m L = 79.0 m 平成16年度 道路補修 W = 5.0 m L = 62.0 m		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	1,036.00	963.90		
	団体負担金	518.00	481.95		
	繰越金				
	収 入 合 計(B)	1,554.00	1,445.85	0	
支 出	工事費	1,554.00	1,445.85		
	支 出 合 計(C)	1,554.00	1,445.85	0	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		66.6 %	66.6 %	%	
補助・交付金の対象経費(項目)		工事費	工事費		
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		1,554.00	1,445.85		
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		66.6 %	66.6 %	%	
補助・交付金の算出根拠	工事費用の2 / 3以内の額				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	28 - 12
------	---------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域土木振興補助金		
交付先の名称及び代表者名	輪厚中央町内会第3班 代表 森田和明	設立年	
構成員(団体)数	16世帯 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	輪厚607番地内に存する私道の整備を行うことにより、私道沿線に居住する住民の生活環境の改善を図る。		
交付先団体等の活動内容	平成15年度 排水施設整備 L = 23.5 m 平成16年度 排水施設整備 L = 32.3 m 平成17年度 道路補修 W = 5.0 m L = 127 m		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	315.00	417.90	858.00	
	団体負担金	157.50	208.95	429.00	
	繰越金				
	収 入 合 計(B)	472.50	626.85	1,287.00	
支 出	工事費	472.50	626.85	1,287.00	
	支 出 合 計(C)	472.50	626.85	1,287.00	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		66.6 %	66.6 %	66.6 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		工事費	工事費	工事費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		472.50	626.85	1,287.00	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		66.6 %	66.6 %	66.6 %	
補助・交付金の算出根拠	工事費用の2 / 3以内の額				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	28 - 12
------	---------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域土木振興補助金		
交付先の名称及び代表者名	富輪道路組合 代表 大槻 常助	設立年	
構成員(団体)数	12世帯 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	富ヶ岡527番地先に存する私道の整備を行うことにより、私道沿線に居住する住民等の生活環境の改善を図る。		
交付先団体等の活動内容	平成15年度 道路補修 W = 3.0 m L = 120 m 平成16年度 道路補修 W = 3.0 m L = 100 m 平成17年度 道路補修 W = 3.0 m L = 100 m		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	299.60	258.30	258.30	
	団体負担金	149.80	129.15	129.15	
	繰越金				
	収 入 合 計(B)	449.40	387.45	387.45	
支 出	工事費	449.40	387.45	387.45	
	支 出 合 計(C)	449.40	387.45	387.45	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		66.6 %	66.6 %	66.6 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		工事費	工事費	工事費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		449.40	387.45	387.45	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		66.6 %	66.6 %	66.6 %	
補助・交付金の算出根拠	工事費用の2 / 3以内の額				